NON-GM NEWS

NON-GM 委員会 No.3　2026.11.3～週発行

「たねと私の旅」映画上映会を開催！

8/1(土)　大阪市中央公会堂にて

６４名参加

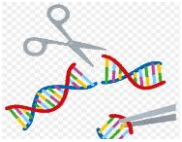


家庭菜園の野菜で作る母の手料理で育ったオーブが、遺伝子組み換え食品に疑問を持ち、その背景を知って行動していく姿。それは私にとって決して他人事ではなく、「自分事」としての切実な問題提起でした。

思えばかつての我が家でも、毎年あたりまえのように野菜のたねやさつまいもの種芋を採り、次の年へと繋いでいました。特に「たねもみ」は専用の田んぼを決めて、ひときわ大切に育てていたものです。一粒の「たね」から始まる命の循環とそれをいただく食卓は、地続きで繋がっていました。

だからこそ、効率優先の大規模農業よりも自然に寄り添う「小規模農家」の必要性と可能性を語るオーブの言葉が、深く心に響きました。現代の食卓は本来の自然な「たね」のあり方から遠ざかりつつありますが、未来の食を支える鍵はこうした小規模な営みの中にこそあると確信します。

日々の買い物では、表示をしっかり見て遺伝子組み換え食品は買わないこと。生産者の顔が見える消費材を選ぶこと。この一人ひとりの小さな選択が、社会を動かす大きな力になると思いました。





生活クラブは遺伝子操作された作物・食品にNO！
消費材を利用し、意思表示をしよう！

参加してみて・・

「映画のメッセージがわかりやすく、いい映画だった」という感想が多く、食を取り巻く状況について関心を喚起してくれる映画上映会でした。

＜印象にのこったシーン＞

・GMO（遺伝子組み換え作物）表示を求める運動を潰そうとするモンサントなどの大企業の圧力や、バーモント州でGMO表示法案が一週間で覆されたことに衝撃を受けた。

・GMOを売る企業の宣伝文句が農家や研究者によって反証されたり、害虫が農薬耐性を持つようになり、さらに強い農薬が必要になったという現実に驚いた。

＜これからやってみたいこと＞

・「私たちの選択が未来を変える。**選択していくことが大切**」

・NON-GM（遺伝子組み換えでないもの）を意識して生活していきたい。これからもNON-GM食品を食べていこうと思う、

・小さなことからで良い、**声をあげることから始めたい。**

☆「遺伝子組み換え作物を栽培して欲しくない」「遺伝子組み換え食品を買いたくない・食べたくない」と思う方！『GMOフリーゾーンサポーター宣言』をしませんか？？

誰でも宣言出来ますよ。組合員、非組合員でも可能。

宣言票提出された方にはかわいいサポーター証明書シールをプレゼント♪

配達便でお届けします。　下記を切り取り、配達職員に渡してくださいね。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・きりとり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

行き先：茨木本部　組織運営課（NON－GM 委員会）

『GMO フリーゾーンサポーター宣言』します。

■名前：　　■宣言年月日：　　年　　月　　日

■住所：　　都道府県　　市　　区

■支所・配達曜日・配達職員：　　支所　　曜日配達　　コース

※記入された情報は規則に沿って管理し、生活クラブ生活協組合大阪の活動以外の目的に使用しません。
お問合せ先 生活クラブ生活協同組合大阪 組織運営課　TEL072-641-5561